

様式第4号 (第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和 元年 9月 20日

盛岡市議会議長

遠藤 政幸 様

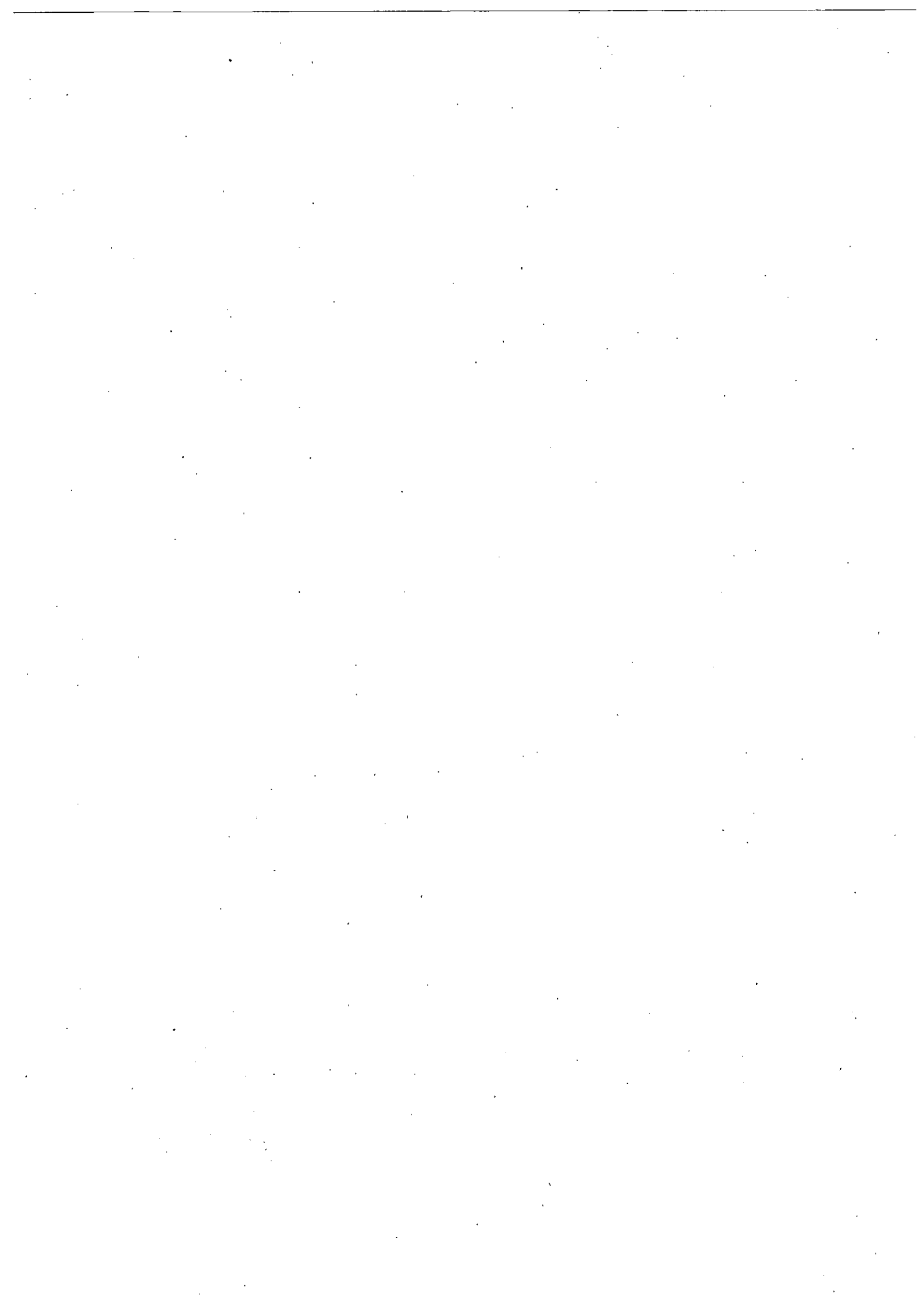
議員氏名

小林 正信



盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により平成31（令和元）年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。





別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	200,000 円	
支 出	調査研究費	円	
	研修費	円	
	広報費	55,855 円	市民に対する議員活動広報紙の発行・配布経費
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	55,855 円	
差引残余 ①-②	144,145 円		

様式第5号

政務活動費出納簿

【平成31（令和元）年度分】

（単位：円）

年月日	内 容	収入額	支出額	政務活動費経費内訳									
				調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所費	
H31.4.3	広報No.12作成委託費		30,000										
H31.4.10	政務活動費交付金	200,000											
H31.4.17	広報No.12ポスティング 経費		25,855										
経費小計													
合計額		200,000	55,855	差引残余额						144,145			

✓

様式第6号

政務活動費支出簿

使途項目	広報費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘要	備考
H31. 4. 3	30,000 円	広報No. 12作成委託費	
H31. 4. 17	25,855 円	広報No. 12ポスティング経費	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	55,855 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成31年 4月3日
支出証拠書類の額面金額			30,000 円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額			30,000 円
【支払概要】 広報作成委託費			
領収書等添付欄 <input type="checkbox"/> 別紙に添付			

領 収 証

小林 昭のび 様 平成31年 4月 3日

★ ¥ 30,000

但 小林 昭のび 通信 No.12 企画制作料
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

〒020-0121 盛岡市月が丘1-24-17
Tel&Fax 019-847-1292

N・T・P 創造開発研究所

中村 雄



政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成31年4月17日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	25,855	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	25,855	円
【支払概要】 広報ポスティング経費		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 証

No 025135

平成31年4月17日

小林 正信 様

金額 ￥25,855

収入印紙

上記の通り正に領収致しました。

内 訳

現 金

小 切 手

但 4/36 (金)ポスティング代として

3,800 印紙 × 6.3 円

消費税額等 (%)



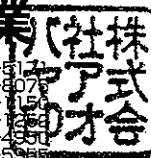
Aobaya

株式会社 アオバヤ アドポス事業

- 盛岡センター
- 山形センター
- 仙台北センター
- 仙台南センター
- 福島センター
- 郡山センター
- 宇都宮センター
- いわきセンター
- 水戸センター
- 新潟センター
- 船橋センター
- 前橋センター
- 函館センター
- 米沢センター

- 〒020-0866 盛岡市本宮2-37-6
- 〒990-0813 山形市松町3-8-34
- 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈2-7-7
- 〒981-1224 仙台市増田字柳田240 101
- 〒980-8165 福島市吉倉字吉田120-1
- 〒963-0107 郡山市安積3-120
- 〒321-0932 宇都宮市平松本町362-6 101号
- 〒970-8022 いわき市平塚字風内71-1
- 〒310-0913 水戸市見川町2131-150
- 〒950-0853 新潟市東区東明2-4-4
- 〒273-0022 船橋市海神町2-237
- 〒379-2153 前橋市上大島町121-3
- 〒041-0824 函館市西信使町589-55
- 〒992-0021 米沢市大字花沢257-2

- tel.019-656-5111
- tel.023-682-8076
- tel.022-371-1150
- tel.022-383-1150
- tel.024-503-4351
- tel.024-937-5986
- tel.028-610-1537
- tel.0246-35-6033
- tel.029-244-0352
- tel.025-287-1153
- tel.047-495-3116
- tel.027-261-6558
- tel.0138-49-1055
- tel.023-824-6076



※金額を訂正したものの扱者印のないものは無効です。



小林まさのぶ 通信

メール: kbycsonotoki@yahoo.co.jp

昭和52年10月31日
盛岡市、中屋敷町生まれ。
私立岩手高校卒。
創価大学文学部人文学科卒。
民間企業勤務を経て、平成18年から
実家の看板会社を継ぐ。
盛岡市議会広報委員会委員。
盛岡市教育福祉常任委員会委員。



発行者:小林正信/〒020-0041盛岡市境田町10-86 A201
携帯:090-6450-7618 Fax:019-618-3181

2015年の初当選以来、皆様から温かなご支援を頂きながら、市民福祉の向上に全力で取り組んで参りました。
今回は、3月議会の内容と、市民の皆様からのご指導にご協力を賜りながら積み上げて参りました私の活動、及び実績をまとめさせて頂きました。どうか今後とも、変わらぬご指導、ご支援、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



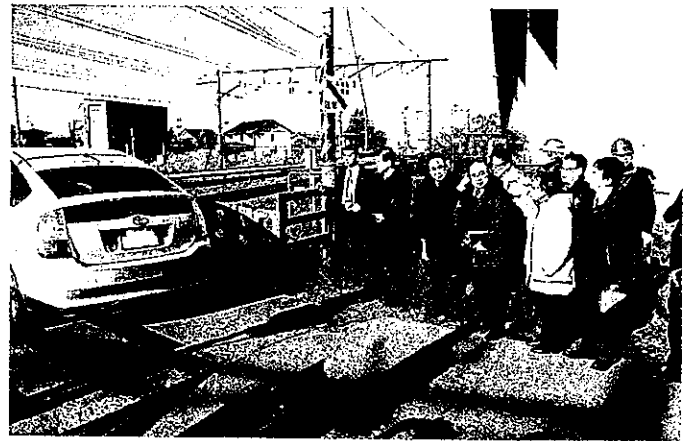
盛岡市議会議員
小林まさのぶ

小林まさのぶ1期4年の主な実績・活動

1. 安全・防災・減災

①境田川原踏切、拡幅工事实施！

平成29年5月、石井国土交通大臣に境田川原踏切の改良、国道46号盛岡西バイパスの延伸、鉈屋町の無電柱化を要望するため、国交省を訪問しました。また、境田川原踏切を石井大臣、谷藤盛岡市長に視察して頂き、本年、拡幅工事が実施される運びとなりました。併せて周辺道路の改善、安全対策を推進致しました。



境田川原踏切の調査：石井国土交通大臣、市長と共に

②現場第一主義！被災地へ！

2015年の当選以来、毎年東日本大震災の被災地を訪問。被災された住民の皆様から状況を伺い、県や国に要望。また、2016年、台風10号被害に見舞われた岩泉町を訪問、自ら泥上げ作業をすると共に、住民の皆様より要望を伺い、県・国へとつなげる取組みを行なって参りました。



昨年9月土砂災害被災地岩泉町安家地区へ

盛岡市役所に
フードポスト



実績は第4面に続く→

③盛岡市の備蓄米の有効利用を提言！

3月定例会においてフードドライブ実施を提言！

災害時の非常食として盛岡市が備蓄しているアルファ化米。期限の迫ったものをフードバンクに提供することを提言。また、各種イベントで、各家庭で余っている缶詰や乾物、お米などの

食品を集め、NPOを通して生活困窮者や一人親世帯など、必要とする人たちに届けるフードドライブの実施を提案致しました。

小林ま

市議会の質 3月定例会

< 主な質問項目

◎ 質問

新産業等用地を中心とする 新たな産業振興プロジェクトについて

◎ 福島県は「福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想」を立ち上げ、県内の産業振興を図っております。盛岡市における新産業等用地の整備事業も、未来を見据えた構想力という点において、劣らないものであると考えております。市の未来を見据えた上で、福島イノベーション・コースト構想に比するような、新産業等用地を中心とする新たな産業振興プロジェクト、構想を立ち上げ、以って人口減少対策、雇用創出、学術振興など、多分野にわたる課題解

決、施策推進に当たるべきと考えますが、ご所見をお伺いします。

▲ 新たな産業振興プロジェクトの立ち上げについて、平成31年度には、成長分野拠点形成事業に取り組み、成長が見込まれる医療福祉機器製造の振興を図るとともに、県のプロジェクトと連携しながら、地域経済を牽引し、10年後20年後につながるよう産業の集積を図り、当市の産業振興の新しい拠点形成に取り組んでまいりたい。

「緊急自然災害防止対策事業費」活用について

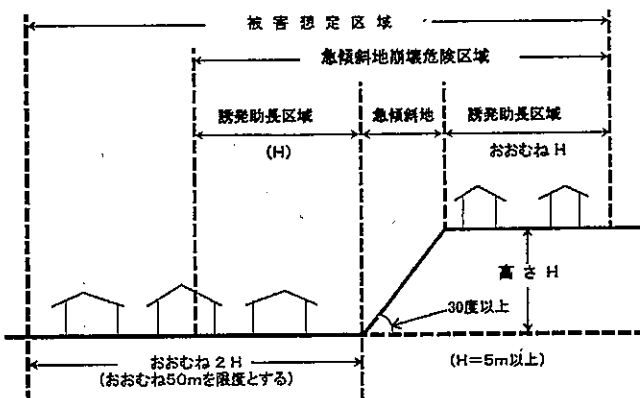
◎ 国においては、重要インフラ等の早期整備を期して「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」に7兆円を充てて取り組むとしております。またこの緊急対策と連携し、新たに「緊急自然災害防止対策事業費」を計上し、地方財政措置を講ずるとしております。この緊急事業費の対象については、治山、砂防、地滑り対策、急傾斜地崩壊対策、河川、農業水利施設などが挙げられております。

調査では、盛岡市には土石流が発生する危険がある箇所が369ヶ所、危険な急傾斜地が218ヶ所あるとされ、盛岡市防災マップにも反映されている所であります。市として、この緊急自然災害防止対策事業費の活用については、どのように考えておられるのか、お伺いします。

▲ 緊急自然災害防止対策事業は、国庫補助の要件を満たさない地

方自治体の単独事業を対象とし「緊急自然災害防止対策事業債」を充当できるよう新たに創設されたものである。今後、国から詳細な基準等が示されるとのことであり、情報収集に努めるとともに、急傾斜地等の危険箇所解消にかかる事業への活用について、検討を行ってまいりたい。

急傾斜地崩壊危険区域



※「被害想定区域」とは、急傾斜地の崩壊により被害を受けるおそれのある区域です。なお、被害の実績のある場合は、その実績を用いることもあります。

いじめ防止のための SNS相談事業の導入

◎ いまや中学生でも5割、高校生では9割の学生がスマートフォン・携帯電話を保有しており、気軽に相談できるのは圧倒的にSNSなであります。以前私の質問の中で、長野県とLINE社の提携によるSNSを活用した相談業務が好評、かつ有用であった事例を紹介させて頂きました。そうした成果を受け、政府の18年度予算の中に、いじめ防止のためのSNS相談事業が盛り込まれ、さっそく、北海道や大阪府、東北では仙台市など、19都道府県11市でSNS相談事業が実施されました。文科省・厚労省共に19年度

クラウドファンディングの ふるさと納税の導入に

◎ 起業を考えている若い世代の新たな発想、新たな挑戦を応援するという意味で、クラウドファンディング等による後押しは重要であると考えます。以前、市長は、投資型クラウドファンディングについて、中小企業や小規模事業者の資金調達に有効であり、その周知を図るとともに、市が資金を集めることとなるクラウドファンディング型のふるさと納税の導入についても検討してまいりたい、と答弁なさいましたが、その後の検討状況はいかがでしょうか。(※クラウドファンディング型ふるさと納税=地域課題の解決に資する事業を立ち上げる起業家に対し、事業に共感する方々から市がふるさと

盛岡西バイパスの延伸について

◎ これまで市長は盛岡西バイパス延伸の要望を国に対し積極的に行い、2018年度の国の予算において調査費が盛り込まれました。この延伸により、4号線の渋滞緩和と合わせて、市内から移転する岩手医大へのアクセス性が向上し、緊急時の連携体制の充実が期待されます。早期の事業着工、完成が望まれますが、延伸に関する今後の予定について、市として把握している情報があればお知らせ下さい。

また、市として今後も、国に対し早期完成の要望を行なって頂きたいと考えますが、いかがでしょうか。

▲ 現在、国において、盛岡西バイパスの延伸となる「国道4号盛岡南道路」の「計画段階評価」が実施されており、平成31年1月まで行われた地域住民等へのアンケート調査結果を踏まえながら、検討を進めていくと伺っている。

国道4号盛岡南道路の整備により、盛岡市都市圏の渋滞解消や都市機能の集積強化のみならず、岩手医科大学付属病院の移転に伴う医療体系の強化につながるものと考えており、引き続き県や矢巾町等と連携しながら、道路関係団体要望や本市の統一要望等、様々な機会をとらえ、国に強く要望していく。

きのぶ

問と答弁 2019年

内容と答弁 >

答弁

いて

更なるSNS相談体制充実のため費用を計上しております。こうと予算措置がある以上、市としても具体的に導入計画を策定していくべきと考えますが、ご所見を聞かせください。

SNSによる相談を導入すること子どもたちが気軽に相談でき機会を増やすこととなり、有効だと考えられる。平成31年度

まずはメール活用した相談試験的に取り予定である。



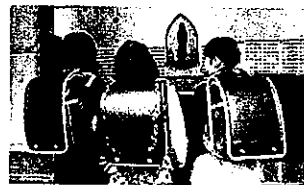
のて

を活用して資金を集め、それ景資として補助を行う仕組み。) 起業家の資金調達においては、本政策金融公庫の融資やファンド投資、制度融資の活用が多いが実情であり、クラウドファンディング型ふるさと納税の活用には次を示す起業家は、現時点でいふこともあり、他都市の事例を参考している段階である。本市としては、3月13日に開催される地クラウド交流会等において、参する起業家に対して、この仕組みを通じて資金調達する意向があるか、その把握に努め、必要に応じてその実施について検討してまい

小中学生の荷物の重量化について

◎文科省は「児童生徒が登下校時に持ち運ぶ教科書、教材、学用品の重さや量に配慮するように」という旨の事務連絡を发出了しました。全国の親御さんからは、小中学生の通学カバン・ランドセルが重すぎるという声、健康被害を懸念する声が上がっており、メディア等でも取り上げられております。ある調査では、ランドセル・カバンを含めた小学1年生の荷物の重さは平均6.7キロ、中学生では平均8.3キロもあるとのこと。重量化の原因は、10年間で34%とも言われている教科書ページ数の増加や、教材のカラー化、大型化に加え、熱中症対策の水筒や雨具、時には書道や図工の道具、体操服に給食袋など、学校へ持っていく

物が非常に多いとのこと。先の文科省の事務連絡を受け、どのような対応・対策をしているのかについてお聞きします。



▲市教育委員会では、文部科学省から例示された「児童生徒の携行品に係る工夫例」を参考に、必要に応じて適切な配慮を講じるよう、各学校に対して指導を行った。各学校では、日常及び学期始め学期末などにおける携行品の重さや量について改めて検討し、登下校時の負担を軽減したり、安全を確保するなど、取り組みを行なっている。

家庭学習に必要としない教科書や教材を学校に置く「置き勉」について

◎家庭学習において必要としない教科書や教材を学校に置いて下校する、いわゆる「置き勉」について、市内の小中学校では実施されているのか、お知らせ下さい。

▲教科書や教材を学校に置いて下校することを認めている学校は、小学校で42校中33校、中学校で23校中14校である。また、認めていない学校に

においても、副読本、資料、習字道具などの学習用具を学校に置かせる



など、何らかの配慮を行っている。

教育委員会相談業務におけるSNSやメールを活用し取り組みについて

◎総務省の調査によると、9割の若者世代がLINEを利用しているとの事です。「盛岡いのちの電話相談」においても、全体の電話相談件数は増加しているものの、20代以下からの割合は年々減少しているといえます。若者にとって、電話をかけるという行為は非日常であり、まして深刻な相談をするためには、周囲に聞かれない状況を作ってからダイヤルをしなければならず、そうし

た事情が、電話相談に対するハードルをあげていると考えられます。私が以前質問させて頂いた教育委員会の相談業務における、SNSやメールを活用した取り組みについての研究状況についてお知らせ下さい。

▲現在、先行実施している自治体から対象者の範囲、相談日時、相談体制などについての情報を収集しながら、導入について検討している。

子ども食堂事業に特化したクラウドファンディングの活用について

◎クラウドファンディングは、投資する側が事業やプロジェクトに共感し、資金を提供するという仕組みであります。クラウドファンディングで子ども未来基金全体に対して寄付を募ったとしても、寄付する側は自分が提供したお金が事業に活用されたというイメージが湧きにくいのではないかと考えます。文京区の子ども宅食では、クラウドファンディングを活用し、これまでで合計1億円以上の寄付を集めたそうであります。クラウドファンディングの導入については、子ども未来基金全体というよりも、特に子ども食堂に限定して行ったほうが、寄付する側もイメージがしやすく、

より多くの寄付が得られるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。

▲クラウドファンディングは、事業内容を具体的に明示した上で寄付を募るという点において、寄付者の意思を直接事業へ反映することができる有効な手法であると認識している。

市としてはこれまで、盛岡子ども未来基金における助成事業とクラウドファンディングを連動させることについて研究してきていることから、子ども食堂を含めた個別事業に対するクラウドファンディングの活用について、検討を進めてまいりたい。

2. 医療

④ヘルスケアポイント導入を提言、実施へ。

健康増進、介護予防に取り組む市民に対してポイントを付与するヘルスケアポイント制度の導入を推進。市では、健康づくりに取り組む皆様を応援するため、平成30年度から「もりおか健康得とくポイント事業」を開始しました。



MORIO-J カードにポイントが加算されます。

⑤脳ドック受診費用に対する助成を提言。

⑥盛岡市立病院の救急体制の整備を提言。

⑦中学3年生に対するピロリ菌検査の実施を要望。

3. 子ども・若者支援分野

⑧メール、SNS を利用した「いじめ対策」の前進。

議会において、いじめ相談におけるSNSやメールの活用を訴えてまいりました。教育委員会は現在、先行実施している自治体から対象者の範囲、相談日時、相談体制などについて情報を収集しながら、導入について調査、研究しているとの事です。いじめ防止のため

のSNSの活用は、子どもたちが気軽に相談できる機会を増やす事となるため、市では平成31年度に、まずはメールを活用した相談に試験的に取り組む事としております。

⑨起業家応援！ビジネスプラン発表会を提言。

起業家によるビジネスプラン、ビジネスモデル発表会の開催を提案。



3/13(水)プラザおでってビジネスプラン発表会

⑩介護士・保育士の奨学金返還支援を推進。

奨学金の返済を支援する制度について議会で訴えました。

⑪国の若者雇用促進法について取り上げ、若者に対する就職支援、盛岡への定住促進を訴えました。

⑫子ども未来基金を活用し、子ども食堂を立ち上げる団体へ財政支援を提言。

⑬子どもの貧困対策における全庁的な取り組みを訴え、子どもの貧困対策実効計画の策定を推進。

⑭子ども・若者のためのワンストップの相談窓口設置を提言。

⑮SNSを活用しての若者の就職支援、地元定着へのアピール、情報発信について提言。

⑯ひきこもりに対する支援を提言、モデル事業実施へ。

⑰スクールガードへの支援を訴えると共に、自らもスクールガードとして着任。

⑱フリースクールと教育委員会との連携を提言。

4. その他の実績・実行



⑲市内の無電柱化の推進(鉾屋町界隈)H32年度中着工予定。

⑳インフラ施設を活用した「インフラツーリズム」の推進を提言。

㉑食品ロス削減の取り組みを提言。盛岡市役所にフードポスト設置を提案。

㉒期日前投票所の増設を提言し、実現。

㉓「子育て支援アプリ」の活用を提言。子ども未来基金を活用し、開発へ。

㉔「ボランティアポイント制度」の導入を提言。平成30年度より実施へ。

㉕「認知症カフェ」に対する支援について提言。